


富士見市協働事業提案制度 令和元年度採択協働事業

提案種別	市民提案型								
事業の名称	みずほ台駅開設の日をみんなで祝う「みずほ台の日」								
提案者	みずほ台の日実行委員会								
主な活動場所 (施設名等)	富士見市内								
構成員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">市内在住</td> <td style="text-align: right;">19名</td> </tr> <tr> <td>市内在勤・在学</td> <td style="text-align: right;">0名</td> </tr> <tr> <td>市外在住</td> <td style="text-align: right;">0名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">19名</td> </tr> </table>	市内在住	19名	市内在勤・在学	0名	市外在住	0名	合計	19名
市内在住	19名								
市内在勤・在学	0名								
市外在住	0名								
合計	19名								
団体設立年月	令和元年7月								
事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日								
事業の目的	<p>東武東上線みずほ台駅は、1977年10月21日の開業以降、平均乗降客数が年々減少傾向にあることなど、まちの元気が衰退しつつあり、地域商業、特に商店会の活性化にも大きな影響を与えている。</p> <p>地域の魅力を再認識し、商業者との顔の見える関係を構築し、商店会が地域コミュニティの中心となる位置づけを再構築するきっかけとすることを目的に事業を実施する。事業を通して、東西商店会の垣根を超えた、「みずほ台は一つ」の合言葉のもと、将来に向けた連携のきっかけをつくる。</p>								
事業の内容	みずほ台駅開業日の10月21日周辺期間の休日に、「まちバル☆ふじみ」との企画も絡め、記念イベントとして駅東西の交流となるイベントを同時に実施する。								
事業予算額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">市補助金</td> <td style="text-align: right;">200,000円</td> </tr> <tr> <td>団体負担金</td> <td style="text-align: right;">40,000円</td> </tr> <tr> <td>協賛金</td> <td style="text-align: right;">450,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">690,000円</td> </tr> </table>	市補助金	200,000円	団体負担金	40,000円	協賛金	450,000円	合計	690,000円
市補助金	200,000円								
団体負担金	40,000円								
協賛金	450,000円								
合計	690,000円								
協働の効果と 役割分担（要約）	<p>1 協働の必要性</p> <p>みずほ台駅周辺の活性化には、市の協力や連携、協働などが不可欠である。本事業を通じ、東西商店会の様々なお店を知ってもらい、地域住民や消費者との顔の見える関係を構築することで、活性化のみならず、かつての地域コミュニティのリーダーとしての位置づけが確立でき、新たな定住促進にも波及し、結果、みずほ台駅周辺地域の発展、更に市の発展にもつながる。</p> <p>2 提案団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みずほ台の日」イベントの企画・運営 <p>3 市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたってのアドバイス（可能であれば、人的な支援） ・市民の方に広く周知する広報 ・財政的支援 								